

基本6枚:124ページ



兄貴つて救いようも

最低な野郎ね

変態で、



妹を借金

な理由に言せたら

を



霧島可憐

「ちょっと何で部屋に呼びだしたのよ! 兄貴の部屋
なんてイカ臭いんだから近寄りたくないのに!」



霧島可憐

「えっ、今まで貸したお金を全部返せって……
そんなこと急にいわれても……
あるわけないじゃないっ!」



霧島可憐

「えっ……なら体で払えって？」

「はあああああ! 馬鹿じゃないの!? 脳にウジ虫が湧いているんじゃないの!？」



霧島可憐

「どうして私がそんなことを……
あ、兄貴のおちんちんをシコシコしてあげないとよっ!
頭おかしいんじゃない!!」



霧島可憐

「手だけでいいからって……」

「ちょっと、何急に土下座してるのよ。ひ、英世2枚も!

……っう…し、仕方がないわねっ! そのくらいなら…

…で、でも絶対にそれ以上のことはしないからね」

生意気な妹を借金

を理由に言うこと

きがせられた

俺が股を開いて横になると、
妹はジッパをずらして、
そのまま俺のチンポを取り出した。

あからさまに嫌そうな顔で、
うんごでも触るかのような
手つきで俺のチンポを、
ツンツンでした。

うわっ、兄貴のつてこんなに大きかったっけ？

……ちよつと鼻息荒いんですけど。

そ、そんなに興奮しないでよ！

ゴクン

ビクッ

ただ触ってるだけじゃない……

これが気持ちいいの？

もうおちんちんビクビクさせている

じゃない！

ふふっ、妹の手で……
コキコキされたかったんだ。

初めて人の手で
しごかれて……
うれしい？ ビクンビクン
させるほど？

そんなに口を開けて
だらしないわね。ほらっ、
もう我慢汁が出てきているじゃない。
ちよっと私の手を汚さないでよ

ビクビク
ビクビク
ビクビク

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ

えっ、先っぽも触れって!?

こんなに真っ赤にして
お汁を垂らして……
もう待ちきれないの？

ビクン

ビクッ

んっ……っんっん♡
あはっ、ほらっ、これが
気持ちいいの？ そんなプルプル
震わせちゃって……

なんかあんまり触ったことない
感触だから楽しい♡
でもこんなに充血していても
痛くないんだ……ふーん

……にしてもくっさいわね。
指に臭いがついちゃう
じゃないの

ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビクビク



は？玉も触れつて！？

そんな汚いところ……
英世もう一枚プラスなら
サービスでしてあげるけど……

妹のひやっとした指先が
俺の玉をころころと転がす。
それがまた快感となつてすぐに
でも射精してしまいそうになる。

ひやつ、ちよつと何ビクンツて
おせで、固くしてんのよ。
おせっ！

ビクンツ、
おせ

ホント、兄貴ただのMじゃない。
ちんぽ虐められてお金取られて
喜んでるの!?

くふふ♡
何だか楽しくなって
来ちゃった♡♡

グハッ
グハッ
グハッ



もう……ほらっ、いいでしょ。

もう手、疲れてきたし。我慢汁で

べとべとだし。最悪。

早くやめたいんだけど……


えっ、むっ、胸を見せて

くれないといけないって!!

それまでやめれないの……?

えっ、まあ、お金追加してくれるなら

……いいけど



服の下から想像していた通りの
美乳が現れた。桜色の薄い
乳首が少し覗いている。

心なしか少しだけ乳首が
立っているようだった

……そんなにかつついて
見つめないでよ!

ちよつと、一気におちんちんを
固くして……私の胸で興奮したの?

もう、変態なんだから
普段から妹をそんな目で
みていたとか……きも!

ぷんぷん
ぷんぷん

この調子なら……
もっと強くしごいてあげたら
いけるでしょっ！

こんなにも良い思いして
いるんだから、
もっとお金増やしてね！

ほんと私の胸ばかり
見ているわね。でもだーめ。
触らせてあげないんだから

ぷるん

ぷるん

ぐわん
ぐわん

ミ
ミ
ミ

ミ
ミ
ミ

ほらっ、今日のところは私の手で
イッて終わりにしなさいよ。

もうお汁がどくどく溢れて、
先っぽもひくついちゃって
いるじゃない！

ぷんぷん
ひゅひゅ
ごっごっ
ごっごっ
ごっごっ
ごっごっ



ほらっ、もう逝っちゃいそう

じゃないっ！ おっぱいで興奮

しちやう単純早漏おチンポなんだから



ほらっ、逝かせてくださいって頼みなさいよ！ お金倍になっちゃうけど逝かせてくださいって♡

ぷるん

ひゅひゅ

ぷるん

ぐわんぐわん

ニョコッニョコッニョコッニョコッ





んっ、あはっ、
手の中びびくびくしてっる。

びびん

びびん

びびん

びびん

びびん

びびん

妹のお手々でいくのは
気持ち良かった!?

もう手が精子でべたべた
じゃない。はいっ
お金ちようだい……

って、ええ！次は足でして
欲しいって……お金払うなら
いいけど……

ゴクゴク
ゴクゴク
ゴクゴク

妹は床に座り俺のチンポを
包み込むように足でロックした。
サービスなのか胸は露出した
ままだ。そしてパンチラまで……

「
グ
ツ

精液を出し終わった
俺のチンポはまだびくびくと
脈打っている。

ほらっ、どうなのよ！
これがいいんでしょ！妹の足が！

グッ
グッ

グッ
グッ

…ちよつと靴下湿気てるって？
き、今日ちよつと暑かったし
……べ、別にいいでしょ
このままでも！

さっき出したばっかで
もうびくくんびくくんしてる
じゃない。

何だかんだ言いながら、
それがいいんでしょ？
ホント、どうしようもない
変態ね！

グ
グ
グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

ふんっ、分からないわね。
あたしには、これのどこが
いいのか……

ぷるん
ぷるん

ただ、シコられて、
喜んでるなんて……
ただのマゾじゃない！

「シュ」
「シュ」

「シュ」
「シュ」

正直、たまらなかった。少し
湿った靴下の奥に足の柔らかさが
感じられて……そう、
靴下がアクセントになっていた

なによ…兄貴、何か言ったら？
……気持ちいいんだ、へえ。
んじゃ、もつと強くしてあげる

どう？ 妹にシコられる
って、どんな気分？

……気持ちいい以外のこと
言いなさいよ、喋る人形だつて
もう少しパターンあるわよ

グツ
グツ

グ
グ
グ

グツ
グツ



妹にシコられて興奮して
ホント救いようがな……え？な、何
これ。靴下、ぬ、濡れてない？

え？ さ、先走り？
何それ……

が、我慢汁？な、何よ
ベトベトしてるし……うわ、
どんどん出てくるじゃない……
うげえ、最悪……

グ
チ
ョ
……



もう、ホントありえない……
うわ、何かネチャネチャ音がして、
やらしいわね……

これ……お気に入りの
靴下なのに、
もう……脱ごう……

にゅわ
にゅわ





え？ そのままがいいって？
あたしが嫌なのよ！
もうホント最低！

我慢汁とか、もう最悪なん
だから……！どんだけ気持ち
よくなってるのよ馬鹿兄貴！

蒸れた匂いが少し、俺の
鼻腔をくすぐった。あらわに
なつた生足に、俺は思わず
息を呑む。

あのすべすべした足が、俺の
チンポに触れるのかと思つと、
興奮が冷めやまず、気持ちと
チンポが膨らんでいく。

足がチンポに当てられ、
思わず生唾を飲んだ。
靴下ありとはまた違った
感覚が、快感を加速させる

ゴクッ
ゴクッ

足だけでこんなに大きくしてるし。キモッ……

……ていうか、触ってるだけなのにこれって、ホントどうなの？

で？ どう？
気持ちいいわけ？ ぽろ、妹の生足よ

ぷるん

ぷるん

グニッ
グニッ

グニッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

グニッ

妹の生足に包まれている。

ぷにぷに……

しかも、あの生意気な妹の

足と尻の尻尾が、またそこそこ

ちよつと動かせば
いいのね。どう？妹の
生足に包まれて、
どんな気分？

ぷるん

ぷるん

って、そのキモい顔
見れば一発ね。そんなに
いいんだ、妹の生足♥

ニユニユ

にちゅにちゅ

ニユニユ

にちゅにちゅ

ほら、こうやって
足で包まれるのが
いいんでしょ？

少しくらい、
サービスしてあげるわ。
感謝しなさいよね

どう？ まあ手よりマシね。
兄貴の汚いちんぽを
直接触るとか、本来なら
絶対にありえないんだし

グ
グ
グ

ビク
ビク



は？もつと擦って欲しい？
あのねえ兄貴、いい加減に
しないと蹴り潰すわよ！

う、ぐ……だ、だから借金の
代わりにやってるじゃん！
わかった、わかったわよ！
擦ってあげるわ！

……フン、
金を盾に脅すなんて、
ホント最っ低……

ぐりぐり……
ぐりぐり……

んしょ……んんっ……ん
っ……ど、どうなのよ。
これでいいわけ？
もっと続ける？……フンっ！

ホント……借金なんて
なかったら、今頃蹴っ飛ばし
てるのに……んっ、しょ
……んっ……

にちや
かきすか

グッ

グッ

だいぶしごくのにも慣れてきたわ。どう？これでいい？返事なんて、そのちんぽ見れば一目瞭然ね。ホント最低

こんな可愛い妹にしごかれたりとか、どっだけ変態なの？

ぷるん

ぷるん

「ジュ」

「ジュ」

しかも足でなんて、そんなぞんざいに扱われてちんぽおつきくしてるんだから、ホント兄としてどうなのよ？

射精させて欲しい？は？
何言ってるのよ。後は
オナニーなりなんなりして
発散すればいいじゃない！

ぷるん

ぷるん

極上のおかずならさっさきの
感触で……って、マジ……？
五千……わ、わかったわよ。
イかせてあげるわ！

ニユニユ

ニユニユ

んしょっ……んっ……!!
ほら、早くイきなさいよ!
その汚いちんぽから、くっさい
精液出しなさいよ!

ほら、びんびんくっさい
きたわよ!

ぷるん

ぷるん

ニャッ

ニャッ

ニャッ

ニャッ

ほら、ほらほら!
気持ちいいんでしょ?
早くイきなさい!



ひゃん!

シャワー

シャワー

シャワー

シャワー

シャワー

……い、いっぱい出たわね……
うわ、すごい臭い……

可愛い妹でこんな
射精しちゃって……
はい。これで五千元ね！

え？ 今度は口い？
じ、冗談じゃないわよ！
……え、ま、マジ……
なの……？

どくんっ
どくんっ
どくんっ

妹はそっと腰をおろし、俺の
ちんぽと向き合ってた。

ゾク

ハア
ハア

ゾク

間近で見るちんぽに興奮して
いるのか、生暖かい吐息が
かかってしまう。おかげで俺の
背筋はぞくぞくしっぱなしだ

ちよつと急にグイって
おちんちんあげないですよ。

チロ
チロ

ビク
クッ

どれだけ喜んでるのよ。
ちよつと顔に当たりそうに
なっちゃったじゃない！

いきなり唾えるのは流石に少し
抵抗感があるし……舐めてみるわね。
んっ、ペろっ。って、またビクって
したっ！もしかして興奮してるの？

おずおずとおっかなびっくりな
様子で俺のちんぽをなめ続ける妹。
舌の暖かさにさっきとは違った
快感が押し寄せる

キロ
キロ

……ちゆるっ、れろお、
ちゆるっ、ぺろ。んっ
この味……ちよつと……好……

って、別に好きでも何でも
無いし。何ちよつとうれし
そうにしているのよっ！

れるっ、れろお。ちゆるっ、ぺろ……
男の人って唾えてもらったらもつと
気持ち良くなるんだよね？兄貴もう
1枚英世くれる？ならしてあげるよ

妹は上目遣いで俺に更にお金を
要求してきた。これ以上の快感を
くれるなら、どとどん借金代を
チャラにしてやってもいい。

俺は悪魔のそとせきに気が付き
うなずいて、妹を促していた。

唇が獲物を仕留めるように
ぬちゃっと開く。唾液の糸が伝って
いた。その口に目を奪われていると
亀頭に快感が走った

ビクッ
ビクッ

ほんとこんなのが
気持ちいいのかしら？
あーむ。んちゅつ……
んぐつ、んちゅつ

んぐつ、んちゅつ

んぐつ、んちゅつ

んぐつ、んちゅつ

んぐつ、んちゅつ

これ結構お口が疲れ……
あーむ、んちゅつ、ちゅぶつ、
じゅぶつ、じゅちゅつ……れるっ

んぐつ、ちゅぶつ……
ほらあ、どうなのお。
兄貴い……

必死な顔で妹は顔を動かしている。
口の中で俺のペニスが脈打つと
驚いたような顔を見せるが
必死にご奉仕を続けてくれる

お金を貰うために俺の汚い
ちんぽを必死に頬でなめる姿は
欲情をそそった。俺のことを財布
だと思っているはずの妹がお口で
奉仕をしていてくれるんだから。

チゅぽ

チゅぽ

チゅぽ

ぽん

ぽん

んっ、んぐっ！んんっ！
じゅぷっ……じゅぽっ……じゅ
じゅっ……じゅぷっ……んんっ！

ノドの奥へ亀頭が届くように
腰を動かしてあげると、上目遣いで
ギロツとにらみ付けてきたが、何も
抵抗をするすべもなく苦しそうな
顔をしていた。

もつと妹が苦しむ顔を見たい。
その一心で俺は腰をリズムミカルに
動かして口内を犯し尽くそうと
した

っんー、んー。れろお、んんっ！
んんんう！んぶうううううっ！
んぶうううううう！

必死に舌を使って俺のちんぽを
口外に追いやるつもりで、
俺にとってはその行為はほんまに
快感を与えるにすぎなかった。

フェイクポ
フェイクポ
フェイクポ

フェイクポ

フェイクポ



限界に来たのか、いきなり俺の
太股を指でつまられてしまった。
意識が明後日の方向に行つて
いた俺は急いで解放してあげた

あぶっ、けほっ、けほっ、
ちよつと兄貴っ！喉の奥まで
つかないでよ！

え？お金を増やすから
許してつて？んゝそれならいいけど
ちゃんと……気を遣つてよね。
私だって女の子なんだから……さ

俺が謝罪して気を遣ってくれた
のが嬉しかったのか、そのまま
無愛想な顔でさっきよりも
奥深くまでくわえてくれた。

んもっ...

ぐわん

頬肉が壁のように俺のちんぽに
絡みつき、根こそぎ精液を奪おうと
バキュームフレアを始めた。

あーむっ、んじゅぶっ.....
んじゅぶっ、んじゅぶっ.....
んじゅぶっ！

びび

びび

先ほどよりも吸引力のある
テクニクに俺はこみ上げてくる
マグマをそのまま中に放出
したかった。

エ
ム
ッ
ポ

エ
ム
ッ
ポ

ぱんぷん

ぱんぷん

じゅん♡

んぷっ！んじゅぼっ、んじゅぼっ
……じゅぶっ、じゅぶっ、
じゅぶっ

そんな俺の事情に気がついたのか、
目で笑いかけ、さらに顔の前後運動を
加速させる。俺の我慢汁と妹の
唾液が溶け合い、絡み合っている

ん~~~~~……♡んちゅ
れるお、れるっ、れるお
……んふっ♡♡♡

休みと言わんばかりに口を少し
離し、舌で丹念のなめ直す。

射精感がこみ上げたことを
知っているせいで「お・あ・ず・け」と
舌で字を書きこいてくねるなごっま

ビクッ
ビクッ
ビクッ

ずる
ずる

びく

びく

ぬちゅがぁあ〜♡

♡

♡

♡

♡

♡

ん~~~~♡

辛抱たまらない俺の表情に満足したのか、またバキュームフェラを始める。緩急を上手に使分けられて俺の腰は震えっぱなしだ

♡



んふっ！んじゅぽっ、んじゅぽっ
じゅぽっ、じゅぽっ ♡♡♡

んじゅぽっ

んじゅぽっ

んじゅぽっ

んじゅぽっ

甘えた顔の俺に気をよくしたのか、
高速で顔の前後運動を始める。
同時におっぱいも激しく俺を求める
ように揺れている



根元から俺の精液がこみ上げてくる瞬間、ちんぽから逃れようとした妹の後頭部を掴み、無理矢理妹の口で果ててしまった。

必死であればれるも俺が手を放さずに快感に浸っているせいか顔をしかめながら、精液を飲み込んでいた。

んむっ、じゅるるるっ、んんんっ
あぶっ、むううううううっ!!
こくっ、こくっ

すべてをはき出すまで俺はそのまま精液を流し込み続けた



けほっ、げほっ……ううう……何て
モノを飲ませるのよっ！あんなに
乱暴にして……！！

どろ……

ええっ！次はパイズリって……
うう……ほんと兄貴の性欲って底なし
よねえ……お金？うゝん……

慰謝料を請求するわ！
一葉1枚追加よ！

ちや、ちゃんと飲んでっつてお願い
してくれたら、飲んであげたのに
……あんな乱暴にするんだから

妹が不安そうに……いせ、
目のやり場に困るように、俺を、
正確には俺のちんぽを見上げている。

妹の柔らかな胸に挟まれて
いる俺のちんぽを、彼女は
覗くように見ていた。

むにゅっ……

はあ……

はあ……



……ど、どうなのよ。
気持ちいいわけ？

た、大枚叩いて妹の胸に
ちんぽを挟むなんて……
こんな兄貴、絶対他には
いないわ！

あ、あつそ。気持ち
良いの。……フン

びくっ

びくっ

ふん、飽きもせずにもまた
胸揉んでるし……マジ最悪。
ホント……やってらんない

……ちよ、ちよつと、
勝手に動かないでよ……!!
ま、まあ、お金もらえる
なら……いいんだけどさ……

むにゅー
むにゅー

ズ
ッ

あうっ、あんっ……ちよ、
胸が、こすれちゃうから!
そ、そんなに強くしちや、
だ、ダメだつて!

ほ、ホント……信じらんない！
妹にパイズリさせて、挙句に
勝手に動くなんて！ホント
常識を疑うわ！

んっ……んうっ！
だ、だから、動かないで
って……

わ、分かってるわよ！お金を
借りてるあたしが悪いんでしょ！

むにゅーっ

むにゅーっ

ズッ

びくっ

びくっ

普段強気なこいつが徐々に半べそに
なっていく。その光景にとてつもない
愉悦と支配感を覚えて、俺はもっと
腰の動きを強めた

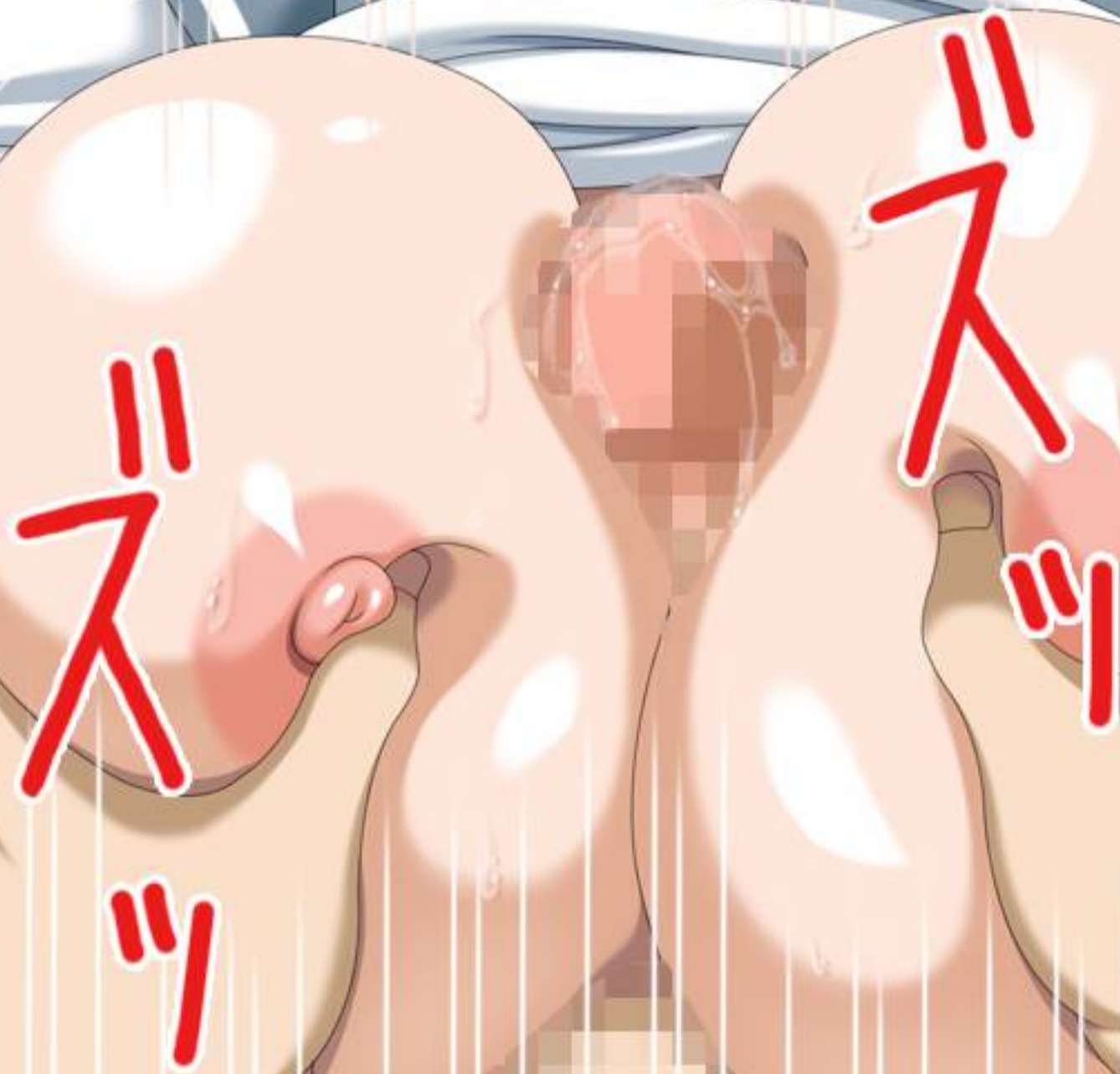
あっ ちよ、やめてっつてばあ！
こす、こすれてるって！ んんっ
んうっ……あうっ！



あつっ、熱い……あ、兄貴のちんぽ
すれて……熱いよ……ねえ、やっぱり
やめようよ……きよ、兄妹だよ!!
ねえ、分かってんの!?

……し、知らんって……
た、確かに、あたしもこの
話に乗ったから悪いとは
思ってるけど……

んうっ、んんっ!ちんぽ、
激しいって……!この馬鹿兄貴!
鬼畜、変態!



妹に罵倒されて、何で……また、
おつきくしてるのよ！ほ、ホント
最低！意味わかんないし！

むにゅーっ…

むにゅーっ…

ギューッ

ギューッ

あんっ…あうっ…や、やだ、
揉まないでよ……もう、もう！
やめてっばー！

あうっ、あんっ、あうううっ……
ほ、ホントに、兄貴って救いようも
ないクズで、変態で、最低な野郎ね！

い、妹に、お金握らせてこんなこと
させてるなんて……親が知ったら
泣くわよ！

しや、借金してるあたしが
確かに言えた義理じゃない
けど……ブツブツ…

ズ
ズ
ズ
ッ
ッ
ッ

はぁ!!で、でそうって、や、やめてよ
そんな、顔に掛かっちゃうじゃない!

も、もももやめてってば……!!
あんっ、あうっ!!こ、腰、動かさな
いでよーやめてよ、やめてってば!

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

あっあんーすいすい……





ん!ん!ん!ん!...

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

びくっ

熱っ……熱う……！
せ、精液が……
お兄ちゃんの精液が……

びくっ

びくっ
びくっ

びくっ

びくっ



はあ……はあ……
お、お兄ちゃんの精液……
熱い……

びくっ

ドロ
ロオ……

びくっ

はあ……

はあ……


お兄ちゃんの精液が……
い、いっぱい掛かってる
よう……

びくっ

びくっ

……ホント、どうなの!?!
妹にこんなに出して、
罪悪感とかないわけ!?!
この馬鹿兄貴!

……今度は何? フン!
こうなったらとことんやるわ!
借金も全部チャラにしてやる!



妹は戸惑いながらも動かずに、
俺の行動をとめない。「こいつも
心の中で期待しているのだろうか。
「じいじい」とを...

ちよ、顔近づけないでよ！
い、息……おまんこに
当たってるから！

びん

ふ〜

ふ〜

もう、やだ！匂い嗅がない
ですよ……！もう、やだあ……！
や、やめてってば！

びん

ぬ、濡れてるって…あ、あんなこと
してたら、だ、誰だって…変な
想像しちゃうじゃない！ほんと
デリカシーないの!?

何なの、兄貴…妹のパンツの
匂い嗅いで…楽しいの？
…か、感想もとめてるわけない
でしょ！馬鹿じゃないの!?

あ、や、やだ！やあ！やだあ！
き、気持ちよくするとか、意味
わかんないし！や、やめっ…

ビ
ク

っ
ん
っ
ん

く、クリトリス、っ、突くの…
やめっ、ひゃんっ！あっ、ああっ、
だ、ダメだって兄貴…それは…

……う、うう……染みが広がって
るって、兄貴のせいでしょう!?! もう
最悪!これ、お気に入りのパンツ
なのに……

ハア

ハア

フリ

フリ

もう、ホント……兄貴に匂い
嗅がれて、クリトリス弄られてる
……もうなんなの、この状況……

ひゃあっ！ちよ、馬鹿！
な、舐めちやダメだって！
ど、どんな味がするかなんて……
何考えてんのよ！あ、ひやうっ

ビ
ク

びん

びん

ううう……兄貴さあ、
もうちよっと妹の心情、
汲み取ってよ……

へ
ろ
♡

びん

う、そりゃ借金してる
方が悪いけどさ……
ひゃんっ！だ、だから、
舐めるなあ！

ひゃああんっ！や、やめっ！
く、クリトリス、舐めないでよお
は、はあ!?か、感じてなんかないし
馬鹿じゃないの！

こ、これは……その、
いきなりだったから、
びっくりしただけよ！

……わ、わかったわよ
いきなりじゃないなら、
別に……

びゅん

びゅん

ペロ♡

……くう……んんっ……ひっ……
あうう……んんっ……。が、我慢
なんて、してな……ひやうっ

ビ
ク
び
ん

び
ん

し
ろ
し
ろ

ううう……ひゃ……あううう……
ふあああ……だ、だから……
我慢……してない……



え、何、ちよ、脱がせようと
するなあ！馬鹿馬鹿！
や、やめてよお！



うう、脱がされるし…

トロ〜

じろじろ、みるな！
この変態！

びくん

もうホント……兄貴に
見られるとか……ホント、
ありえない……それも、
生……

くんか
くんか

いや、だから、匂いなんて嗅がな
いでよ！さつき嗅いでたじゃん！

……さ、さつきより匂いが
するって、もうだからどうして
そうデリカシーないの！

ぬるー

ヒクヒク

やあつ！ちよ、広げないでよ！
やあんつ！お、おまんこの中、
覗かないでよ！

ぬちゅせあ……

びん

びん

ああつ、やだ……
兄貴におまんこの奥まで
見られてる……！も、もう
やだ……死にたい……

びん

油断している妹に、先制攻撃。

おまんこをなめてみる。

……なんだろう、ちよぷり

しよぷり。甘い匂いがするの……

やああああああんっ
な、何!? な、何なの!? お、おまんこ
……な、舐めてるの……!?

びくん

びくん

しよ
しよ

びくん

や、やだ、お兄ちゃん、
き、汚いよ……やあんっ
あうっ、ひゃうづうづうっ
んうづうづうづうっ

だ、ダメだって…お、お兄ちゃん
…お願いだから、やめ、やめてよ
…あんっ、あうううっ、はううっ

ビ
ク

い、妹のおまんこなんか、舐めちゃ
ダメだって…！お、お願いだから
おまんこの中で舌をくちゅくちゅ
動かさないでええええええ

ロ
ロ
ロ
ロ
ロ
ロ

ハ
ア

ハ
ア

やあっ…ひやああんっあんっ、
あああう…っだ、だめえ、
ダメなのお…動かしちゃ、
ダメえ……っ

ひゃああああっ！な、何？
何でおまんこに指突っ込んで
るの！？や、やあ！ぐちゅぐちゅ
動かさないでよ！

あうううっ…
そ、そんな、じゅぷじゅぷ
するたびに溢れるからって
……洪水みたいって

変なたとえやめてよ！
それと、か、感じても
ないわよ！

びく
びく
びく

じゅぷ
じゅぷ

じゅぷ
じゅぷ

びく

ひやあんっ！く、クリ
トリス、な、舐めちや
ダメえ~~~~♡♡

ビ
ク

ハア
ハア

ふあああんっ！ああんっ
やああああんっ♡
だ、だめえ、だめえ…
舐めちや、らめえ♡

ロ
ロ
ロ

パンツ越しじゃないから…
びりびり、直接来るのぉ♡
だ、ダメえ、ダメえええ
ええええええっ♡♡

数回けいれんした。もしかして…
クリトリスを刺激しただけで、
イってしまったのだろうか

はあ……はあ……。い、
いつてないわよ！イクわけにや
いでひよ、兄貴にゃんかの指で…
あは、あひゃ……♡♡♡♡

おにゅあ…

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん



小生意気な妹だが、強がっているのは目に見えていた。先ほどから察するに、おまんこの奥とクリトリスが弱いみたいなので、そこを狙おう

や、やあっ！ひ、広げて…
あんっ！し、舌でおまんこ
くちゅくちゅしちやだめえ

びん

そういつけれども、ちっ中に触れるたびにきゅんきゅんして痛くはなさないだろっ
ちっ中が締まる。先ほどよりも愛液も増えているし、指でもないし

あうううっ、ひやうううっ！
お、奥まで届いて……！！
う、動かしちゃ、ダメえ

ビロビロ

「このちゅう中からどとどと
愛液が溢れてくる。なめれば
なめるほど触れば触るほど、
あふれ出す」

びん
びん
びん

びん
びん
びん

びん
びん
びん

びん
びん
びん

あんっ、やあんっ！
だ、だめえ、くちゆくちゆ
しちや、だめえ！あんっ、
ふあああんっ

俺はおまんこを開いたまま、
フェイントでクリトリスへと
舌を這わせる

ビ
ク

ああっ！ああああああんっ
クリトリス……し、舌で……
ひゃあああああっ♡♡♡

ビ
ク

やあ！やああああんっ！
だ、ダメダメ！やめて！
やめ、やめえ……♡♡♡
あああああ~~~~♡

あっけなく、妹は達してしまった。
潮だろっか、何かが脈動しながら
ぴゅっぴゅとおまんこから吹き
出すぞ。

が、構わずに俺は
舌を這わせ続ける

あああああう……あううっ、や、
やだあ！やだあああああつ
く、クリトリス、い、いじっちや
だめなのお…お兄ちゃん、だめえ

感情が高ぶった時か、ぽろっ
昔呼んでいたお兄ちゃんという
単語が、なんだかひどく
懐かしく愛おしい。

それが兄としての
自覚を与えてくれて
背徳感が増した

おまんこ

びん

びん

びん

はあ、はあ……お、おまんこの
中また舌が……にゆるにゆる
うごいて……あつ、やあんっ！
ひやあああんっ♡♡♡♡♡

びん
びん
びん

びん

ハア
ハア

びん
びん
びん

びん

びん



ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ひやひや〜♡♡♡

ジュジュ〜

あううううううううううう…
や、やあ…お、お兄ちゃん、
見ないで、見ないでえい

しかし、妹のおまんこから潮が吹き
出る光景なんて、そんなもの日常
生活では絶対に見られない光景だ。
よし脳細胞に録画しておこう

はあ……はあ……。
あううう……あ、ああ……
おまんこから、らっぱい……
こぼれちゃってる……♥



そ、そうよ……
い、いったのよ……悪い？何か
……も、文句でもあるわけ？

ハア

ハア

ね、ねえ！ま、待って…
ねえ……セックス、しよ…
だ、だって我慢できないし…

そ、それに、気持ちよく
させてくれるんでしょ？
ね……お兄ちゃん。しよ？

妹はゆっくりと俺のチンポの上に腰を下ろそうとしてる。いへん自分で言い始めたことはいえ…かなり緊張している様子が手に取るように分かった

白く、テカったでん部がふるふると揺れてる。同時にアナルがひくついてた。少し色ずんだアナルに股間が更に固くなってしまう



はっ、初めてなんだから……
優しくしてよね……。
お兄ちゃん



ぐん…

ぐん…

ぬちゅ…

意を決して、ずぶつと腰を下ろすと、すくすく、ちゅつちゅつと、いい。手を掴んで挿入する部分を宛がってやった

あつ、ありがとう。お兄ちゃん
んんっつ！お兄ちゃんの熱い
おちんちんが…中にはいつて
……っう！

ズク…

ズク

はうっ！……んんっ……ああんっ
……ひゃっ……あうっ……んあつ！
お兄ちゃんのふとっ……

ああん……何もしていなくても……
ふう……ふう……んっ……っ……
気持ちいいね♡♡♡

びく…

びく…

びく…

ゆっくりと肉ヒダに埋没していく
様子をただ見ているだけだが、
どこか神秘的だった。妹と
一体化している。それだけで俺の
股間に熱い血が巡る

辛そうに、腰を止め、
落ち着いたら、また少し
埋没させていく妹が
不びんになってきた

俺は大きいため息をついた瞬間
腰を跳ね上げてやることにする

ぷん

あうっ！あああああ
……痛あつ！あんっ！

ふん

ズ
ッ
ッ

……あう……でも……
繋がったね……ありがと♡

ぐんぐん

ぐんぐん

あ、あんなに大きいのが
私の中に……奥の奥まで、届いて……
すっ、すごい……うっ、動いて
もいいよ。お兄ちゃん♡♡



息を整えている妹を無視して
動くのは少しためらわれた。

休憩の意味も込めて、ひくひくと
ひくつかせているまわりの人々へと
手を伸ばすようにした。

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

やっ、やだっ、ぬいてっ！
抜いてっ……やっ！
だめっ！



ぬっ、抜かないでっお兄ちゃん
だめっ！……どうしてっ……
ついちゃ……ついちゃったら
やなのっ

ニ
ニ

妹の嫌がる顔を見ながら
自らの指を抜き、それを
見せつけるようにぺろりと指を
なめてみた

ちよつと、やつ、やだつ！
変態！お兄ちゃんの変態！

もう！金輪際お尻の穴触っちゃ
駄目だからね！そんな悲しそうな
顔をしてもだめだってば！

ツエ
ツエ

こっつ、こっつちの穴で…
おまんこで気持ち良くなつてよ。

はあ…

はあ…

ぬちゅちゅちゅ…

ぐんぐん

ほらっ、動かして良いから…
おちんちん動かしたいでしょ？

そのお言葉に甘えて俺は、
突き上げるように激しく腰を
動かし始めた

ひゃんっ♡ああん♡ひゃんっ♡
あっ♡でちやうの♡

ぽんっ♡

ぽんっ♡

きつ、気持ち良くて♡
声がつ……声がつ……声がつ……
あっ♡でちやうの♡



ひゃんっ♡ふぁっ♡あうっ
ぎやっ♡あんっ♡あうっ♡
ひううん♡ひゃん♡

ゴ
ー
ッ

ゴ
ー
ッ

ぽん♡

ぽん♡

ひうん♡んあっ♡あああ……♡
あんっ♡ひっ、あっ、だっ、ダメツ♡
お兄ちゃんダメツ♡ぞくぞくして
……あああ、もう……

ッ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ



やんっ♡そんなに強く
しないで! あっ、そんなっ!

ゴウッ

ゴウッ

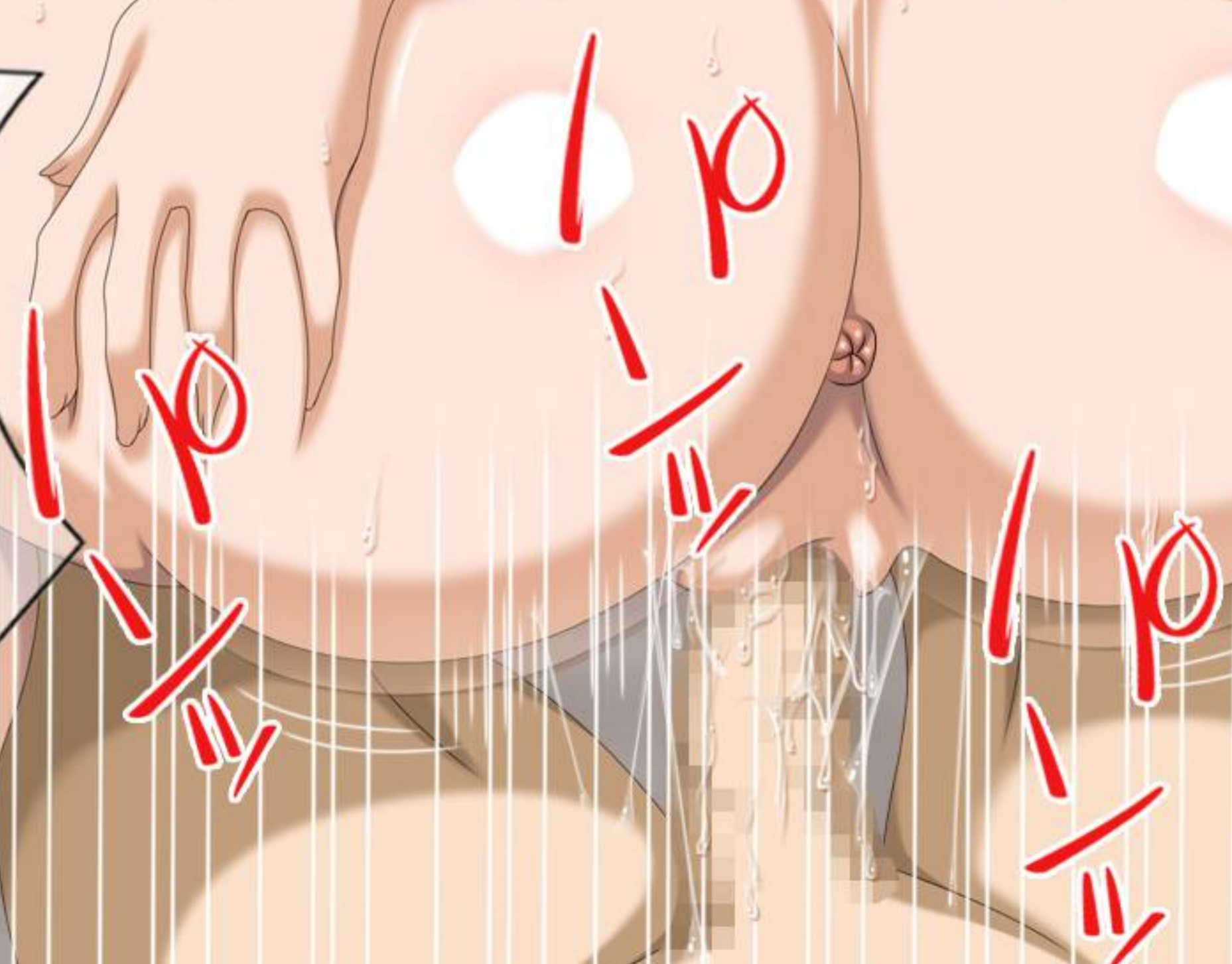
ぽん♡

ぽん♡

ぽん♡

ゴウッ

なっ、うん、いいよ♡中に……
い、いっぱい、出して♡今日
大丈夫だから♡お兄ちゃんの
精液、出してっ……♡



あつ、あつ、あつ、あつ、あつ、
あああああああああ……♡

びくん

びくん

ぽろぽろ♡

びくん

お、お兄ちゃんの、あついつ！
熱い精液が……私の赤ちゃんの部屋に、
出てる~~~~~♡♡♡♡♡

どぴゅっ

どぴゅっ

あ……あたしの中が……
熱いお兄ちゃんの精液で
いっぱいになってる……♡♡

びくん

びくん

びくん

最後の一滴まで絞り尽くす
ように何度も何度も玉の裏に
力を込めて、妹の子宮口に
キスをしたまま、俺は欲望を
垂れ流した……

エロで……



エルフの女王とエルフの騎士





エルフの女王とエルフの騎士











エルフの女王とエルフの騎士



霧島可憐

「ちょっと何で兄貴、中に出したのよっ!
なっ、あっ、あたしそんなこと言ってないもんね!!
あっ、兄貴の聞き違いでしょ!」



霧島可憐

「えっ、今まで貸したお金10万円は全部チャラにしてあげる……っ、うん、ありがとう……でも」



霧島可憐

「ちっ、違う! 違うってば。充分足りているって。
そんながめつくないって。そうじゃなくて……さ」



霧島可憐

「もっ、もしさ、お金なくても……Hしたくなったらさ
……」



霧島可憐

「いっ、いいよ! 兄貴とまたHしてあげるから」

おわり

おわり

シナリオ……安芸沙樹

シナリオ……安芸沙樹

イラスト……タッチ

イラスト……タッチ













エルフの女王とエルフの騎士

あまげ

